

# シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
数 学	数 学 B	2	2	文NP	9

教科書	数学B（数研出版）	副教材	クリアー数学Ⅱ + B（数研出版）
	数学C（数研出版）		クリアー数学C（数研出版）

科目の目標	<p>数列,統計的な推測,複素数平面について理解し,基礎基本となる知識の習得と技術の習熟を図り,</p> <p>事象を数学的に考察する能力を培い,数学のよさを認識できるようにするとともに,それらを活用する態度の育成を図る。</p> <p>共通テストをはじめとする大学入試に対応する基礎学力の養成と進学後の学問研究のための数学的な資質の育成。</p>
-------	--

科目の概要	<p>1. 数列,統計的な推測の考え方,複素数平面について理解する。</p> <p>2. 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。</p> <p>3. 事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに,それらを活用する態度を身につける。</p>
-------	--

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①知力・学力 ②課題対応力	③論理的思考力 ④原因分析力 ⑥受信・発信力	②課題対応力 ⑧行動力 ⑨自己管理能力
観 点 の 評 価	数列,統計的な推測,複素数平面についての基本的な概念,原理・法則などを体系的に理解するとともに,事象を数学化したり,数学的に解釈したり,数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し,事象を数学的に表現し考察する力,確率分布や標本分布の性質に着目し,母集団の傾向を推測し判断したり,標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力,日常の事象や社会の事象を数学化し,問題を解決したり,解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度,粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度,問題解決の過程を振り返って考察を深めたり,評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が養われている。
評 価 の 方 法	定期試験の設問で評価することを基本とし,状況に応じて小テスト等でも評価する。	定期試験の設問で評価することを基本とし,状況に応じて小テスト等でも評価する。	提出物(課題)や授業態度等で評価する。

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 ( 単 元 )	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第1章 数列 第1節 数列とその和 1.数列            2.等差数列とその和 3.等比数列とその和    4.和の記号 $\Sigma$  【1学期 中間試験】 5月20日～23日	1.等差数列と等比数列について理解し,それらの一般項および和を求めることができる。 2.和の記号 $\Sigma$ について理解し, 公式を正しく利用することができる。
	第1節 数列とその和 5. 階差数列        6.いろいろな数列の和  第2節 数学的帰納法 7.漸化式と数列        8.数学的帰納法  【1学期 期末試験】 7月1日～5日	1.いろいろな数列の一般項や和について,その求め方を理解し,事象の考察に活用できる。 2.漸化式について理解し,漸化式で表された数列について,一般項を求めることができる。 3.数学的帰納法について理解し,それを用いて命題を証明できる。
2 学 期	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1.確率変数と確率分布    2.確率変数の期待値と分散 3.確率変数の変換    4.確率変数の和と期待値 5.独立な確率変数と期待値・分散  【2学期 中間試験】 10月15日～18日	1.統計の基礎となる「確率変数」の考え方が理解できる。 2.確率変数の期待値,分散,標準偏差等を求めることができる。 3.確率変数の和や積について知り,その期待値,分散,標準偏差を求めることができる。
	第1節 確率分布 6.二項分布    7.正規分布 第2節 統計的な推測 8.母集団と標本    9.標本平均とその分布 10.推定    11.仮説検定  【2学期 期末試験】 12月2日～6日	1.「二項分布」について理解できる。 2.「正規分布」について理解できる。 3.統計調査に関する基本的な用語について理解できる。 4.標本の平均値,標準偏差から母集団の平均値を推定することができる。 5.正規分布を利用した仮説検定の方法について理解できる。
3 学 期	≪数学C≫ 第3章 複素数平面 1. 複素数平面        2. 複素数の極形式と乗法, 除法 3. ド・モアブルの定理        4. 複素数と図形  【3学期 学年末試験】 3月4日～8日	1.複素数を,複素数平面上の点として表示し,複素数の加法・減法,および絶対値のもつ幾何学的意味を理解する。 2.極形式や,ド・モアブルの定理を扱い,乗法・除法・累乗やn乗根の幾何学的意味を理解する。